

# 平成 29 年度公益財団法人沖縄県保健医療福祉事業団事業報告

## 1 事業概要

平成 29 年度は、沖縄県保健医療福祉事業団（以下「事業団」という。）が公益財団法人に移行して 5 年目を迎え、事業団として公益財団にふさわしい役割を積極的に果たしていくため、沖縄県や関係団体との連携の下、健康づくり運動普及啓発事業、臓器移植普及推進事業、ファミリーハウス事業、勤労者福祉事業の 4 事業を柱に各事業を推進した。

健康づくり運動普及啓発事業では、沖縄県が策定した「健康おきなわ 21（第 2 次）～健康・長寿おきなわ復活プラン～」を踏まえ、栄養・運動・休養（メンタルヘルス）のバランスの取れた健康的な生活習慣を確立するための情報提供を行った。なかでも沖縄県の目指す早世の予防という観点から、これからの時代を担う若年層に焦点をあて健康情報誌のリニューアルや健康あいらんどフェスタを若者が多く集まる場所で開催し、高校生の健康教室も新たに実施した。

また、食育活動としては実践型の食育講習会も新たに実施した。

臓器移植普及推進事業では、臓器移植コーディネーターを 2 名配置し、あっせん業務をはじめ、臓器移植推進の普及啓発事業を継続して実施した。人材育成として、TPM（スペイン研修）に参加した医師を中心に急性期医療に関わる医療従事者を対象としたセミナーを行った。県民に対しては、県民公開講座やイベント等を活用し普及啓発を行った。

ファミリーハウス事業では、離島など自宅から遠く離れ、本島の医療機関で治療を受ける子どもや付き添い家族の経済的な負担軽減を図り、心身ともに安らぐことができる宿泊施設「がじゅまるの家」の管理運営を行った。平成 29 年度の利用者数は 3,791 人、稼働率は 66.9%となった。

勤労者福祉事業では、勤労者の福祉の向上等に取り組む団体が行う就労支援に対して必要経費を助成し、求職者の就労を支援することで労働者福祉の向上を図った。

平成 29 年度事業の概要は以下のとおりである。

- (1) 健康づくり運動普及啓発事業
  - ア 健康づくりイベントの開催
  - イ 健康づくり情報の提供
  - ウ スマートライフサポート事業
  - エ 助成事業
- (2) 臓器移植普及推進事業
  - ア 臓器移植コーディネーター受託事業
  - イ 医療機関の移植医療体制整備事業
  - ウ 県民への普及啓発事業
  - エ 日本臓器移植ネットワーク助成事業
  - オ 助成事業
  - カ 賛助会員の募集
- (3) ファミリーハウス事業
- (4) 勤労者福祉事業
- (5) 現有資産の活用
- (6) 資金運用

## 2 事業実績

### (1) 健康づくり運動普及啓発事業

#### ア 健康づくりイベントの開催

##### (ア) 「いきいき健康あいらんどフェスタ」の開催

健康づくりに対する若年層の関心を高めるため、若者に人気のあるお笑いの要素を盛り込んだ「いきいき健康あいらんどフェスタ 2017」を開催し、健康情報を提供した。参加者数 延べ 2,913 人。

- ・日 時：平成 29 年 12 月 2 日（土）10：00～18：00
- ・場 所：イオンモール沖縄ライカム 1F グラウンドスクエア
- ・内 容：【ステージイベント】

##### <第一部>

- ① キッズチアリーダーディング
- ② 縄跳びタッチクリュー
- ③ ヨガ講座&体験ステージ
- ④ 中国武術演武
- ⑤ お笑いステージ
- ⑥ お楽しみ抽選会

##### <第二部>

- ① サッカー元日本代表・前園真聖氏トークショー
- ② 縄跳びタッチクリュー
- ③ 中国武術演武
- ④ お笑いステージ
- ⑤ お楽しみ抽選会

##### 【体験ブース】

- ① 沖縄県
- ② スポーツオーソリティ
- ③ ウォーキング協会
- ④ ローカロリー・フード講座
- ⑤ ヨガ講座&体験
- ⑥ オーガニック・コスメ&アロマ体験
- ⑦ ボルダリング体験

##### (イ) 「健康づくりライブトーク」の開催

県民の健康づくりの動機づけになることを期待し、平成 29 年度は「食べて、動いて、絶好“腸”！～元気の源、食と腸内フローラ～」をテーマに琉球新報社と共催で「健康づくりライブトーク 2017」開催した。

参加者数 692 人

- ・日 時：平成 29 年 11 月 26 日（日）13：30～16：00
- ・場 所：ロワジールホテル那覇 天妃の間
- ・内 容：【第一部】

講演「健康で笑顔あふれる毎日は楽しく正しい食生活から」  
講師 浜内千波（料理研究家）

##### 【第二部】

講演「“長寿菌”がいのちを守る！  
～大切な腸内環境コントロール～」

講師 辨野義己

（国立研究開発法人理化学研究所 特別招聘研究員）

(ウ)「こころの健康づくりトーク」の開催

青・壮年期のメンタルヘルス対策として専門家を招聘し、「ストレスをためない生き方～自分らしく輝いて生きる～」をテーマとした「こころの健康づくりトーク 2018」を沖縄タイムス社と共催で開催した。

参加者数 693 人。

- ・日 時：平成 30 年 1 月 21 日（日）13：00～16：00
- ・場 所：ロワジールホテル那覇 天妃の間
- ・内 容：【ミニ演奏会】

【第一部】

講演「今を生きることとは」  
講師 麻木久仁子(タレント)

【第二部】

講演「他人の目が気になるあなたへ  
自分らしくのびのび生きるヒント」  
講師 水島広子（精神科医・元衆議院議員）

(エ)「県民健康フェア」の開催

県民の健康づくりに対する意識の向上と取り組みを促すことを目的に沖縄県医療保健連合（なごみ会）と連携して「県民健康フェア 2017」を開催した。

- ・日 時：平成 29 年 8 月 20 日（日）12：00～16：00
- ・場 所：沖縄コンベンションセンター展示場
- ・参加者数：延べ 1,500 人

(オ)「若年層の健康教室」の開催

進学や就職などによって、今後 1 人暮らしや寮生活など大きな環境の変化を迎える高校生を対象に、自らの健康や生活習慣について考えるきっかけを提供することを目的に、医師の監修のもとお笑い芸人の漫才やコント等を交えた健康教室を 2 校で開催した。

a 沖縄県立浦添高等学校

- ・日 時：平成 29 年 12 月 20 日（水）13：50～15：40
- ・対 象：3 学年（3 学年 PTA 講演会において実施）
- ・出演者：演芸集団 FEC 所属芸人（ハンサム、KY デンジャラス、凸凹トラベリング、クーターシンカ）
- ・監修医：糸数公（医師・沖縄県保健医療部保健衛生統括監）

b 沖縄県立豊見城南高等学校

- ・日 時：平成 30 年 1 月 17 日（水）13：50～15：40
- ・対 象：1・2 学年（総合的な学習の時間において実施）
- ・出演者：演芸集団 FEC 所属芸人（ハンサム、KY デンジャラス、凸凹トラベリング、クーターシンカ）
- ・監修医：木村太一（医師・沖縄県南部保健所）

(カ) 食育活動の推進

a 調理実習の実施

健康づくりの視点から体験型食育（調理実習）を沖縄県食生活改善推進

員連絡協議会に委託して実施した。

- ・期 間：平成 29 年 8 月～平成 30 年 2 月
- ・地 域：名護市ほか 8 市町村
- ・回 数：13 回（参加者数：計 385 人）

b 食育講演会の開催

- ・平成 29 年 7 月 29 日（土）  
開催地：伊江村  
講 師：伊是名カエ（管理栄養士）  
内 容：「いつ食べる？時間栄養学から考える太らないテクニック」  
参加者数：50 人

c 食育講習会の開催

- ・平成 29 年 12 月 15 日（金）  
開催地：読谷村  
講 師：伊是名カエ  
内 容：「しっかり食べてナイスボディを目指す」  
参加者数：30 人
- ・平成 30 年 2 月 13 日（火）  
開催地：那覇市  
講 師：宮國由紀江  
内 容：「琉球料理で心と体元気に！！」  
参加者数：29 人

イ 健康づくり情報の提供

(ア) 「いきいき健康あいらんど」の発行

健康情報誌「いきいき健康あいらんど」を年 4 回（7 月、10 月、12 月、3 月）各 10,000 部発行し、公的機関、金融関係、事業所、病院等へ配布した。

また、モノレール各駅等において、勤労者、学生、主婦など一般への配布も行った。

沖縄県市町村職員共済組合が「いきいき健康あいらんど」44 号～47 号（各 1,000 部×4 回）を追加印刷し、組合員へ配布した。

平成 29 年度の各号の特集テーマは以下のとおりである。

- ① Vol.44 歩くが、勝ち。～太りグセ改善でバラ色人生に？～
- ② Vol.45 食べて、絶好“腸”。～カシコク食べて腸内環境を変える！～
- ③ Vol.46 オトナな、飲み方。～お酒と上手に付き合う方法～
- ④ Vol.47 よく寝る人は、よく笑う。～質の良い眠りを手に入れる～

(イ) 健康情報発信（ホームページ）

事業団ホームページにおいて、イベント案内やウォーキングガイド、情報誌「いきいき健康あいらんど」の掲載等、県民の健康づくりを支援するための情報を発信した。

(ウ) マスメディアの活用

a 新 聞

年 2 回開催される健康づくり講演会の内容を多くの県民へ提供するため、新聞紙面（1 ページ）を活用した広報展開を行った。

- ・「健康づくりライブトーク 2017」  
掲載日：平成 29 年 12 月 15 日(金) 掲載媒体：琉球新報
- ・「こころの健康づくりトーク 2018」  
掲載日：平成 30 年 2 月 17 日(土) 掲載媒体：沖縄タイムス

b ラジオ

「ラジオいきいき健康あいらんど」の制作・放送

専門医の監修の下、健康づくりに関する情報提供の 5 分間番組（各局週 2 回放送）を制作し、6 ヶ月間放送した。

- ・放送期間：平成 29 年 9 月～平成 30 年 2 月
- ・放送局：FM沖縄（月火）、ラジオ沖縄（火水）、琉球放送（木金）
- ・月間テーマ：9 月「糖尿病」、10 月「腸について」、11 月「ロコモ」、12 月「お酒」、1 月「高血圧」、2 月「こころと睡眠」
- ・パーソナリティー：ハンサム（演芸集団 FEC 所属芸人）

c テレビ

県民に対し効果的に健康づくりの啓発を行うため、平成 28 年度制作したテレビCMを引き続き放送した。

- ・CM内容：生活習慣病予防対策「運動」編  
生活習慣病予防対策「食事」編  
生活習慣病予防対策「適正飲酒」編
- ・放送期間：6 ヶ月（平成 29 年 5 月～平成 29 年 10 月）
- ・放送局：琉球放送、沖縄テレビ、琉球朝日放送
- ・放送本数：計 855 本  
（琉球放送 285 本、沖縄テレビ 285 本、琉球朝日放送 285 本）
- ・アンケート調査：

インターネット調査会社に依頼し、20 代～60 代の男女（沖縄県在住者限定）のネットリサーチモニタを対象にCM視聴によるインターネット調査を実施した。（計 527 名に対しアンケートを実施）

**【調査結果】**

- ① CMをテレビで見たことがあるかの質問については、80.1%が「見た」または「見たような気がする」と回答した。
- ② CMのインパクトについては 89.4%が「感じる」または「どちらかというと感じる」と回答した。
- ③ CMで示した適正值については、13.7%が「普段から 3 つとも意識して実践している」、46.7%が「1 つから 2 つ実践している」と回答した。また、8.5%は「今まで実践していなかったし、今後もしないと思う」と回答した。
- ④ 上記で「今まで実践していなかったし、今後もしないと思う」を選んだ理由は、「関心がない」が 42.2%、「気をつけなくても健康だから」が 6.7%、「継続できる自信がない」が 35.6%だった。
- ⑤ CMは沖縄県の長寿復活の意識づけになると思うかの質問に対しては、67.9%が「なると思う」または「どちらかというとなると思う」と回答した。

- ウ スマートライフサポート事業（講師派遣）  
（ア）スマートライフセミナー（受託事業）

a スマートライフセミナー

各共済組合の組合員とその配偶者を対象に生活習慣病の予防を目的とした保健・栄養・運動の一日実践型セミナーを開催した。

(a) 公立学校共済組合沖縄支部

- ・平成 29 年 7 月 25 日 (火) 10:00~15:30

会 場：コスタビスタ沖縄ホテル&スパ 1F EM ギャラリー

参加者数：68 人

- ・平成 29 年 7 月 31 日 (月) 10:00~15:30

会 場：ロワジールホテル那覇 3F ていだの間

参加者数：66 人

(b) 沖縄県市町村職員共済組合

- ・平成 29 年 7 月 12 日 (水) 9:30~15:30

会 場：コスタビスタ沖縄ホテル&スパ 1F EM ギャラリー

参加者数：50 人

- ・平成 29 年 7 月 20 日 (木) 9:30~15:30

会 場：ロワジールホテル那覇 3F ていだの間

参加者数：51 人

(c) 地方職員共済組合沖縄県支部

- ・平成 29 年 7 月 21 日 (金) 10:00~15:50

会 場：ロワジールホテル那覇 3F ていだの間

参加者数：40 人

- ・平成 29 年 8 月 30 日 (水) 10:00~15:50

会 場：コスタビスタ沖縄ホテル&スパ 1F EM ギャラリー

参加者数：45 人

b 栄養講座

公立学校共済組合沖縄支部が主催する「生涯生活設計セミナー」において、食に対する意識を高め、生涯を通じて健康的な食生活が実現できるよう栄養講座を開催した。

- ・平成 29 年 7 月 26 日 (水)~7 月 28 日 (金) 9:30-16:00

会 場：コスタビスタ沖縄ホテル&スパ

参加者数：213 人

c 長寿ライフセミナー

後期高齢者医療制度の被保険者を対象に、それぞれのレベルに応じた健康の維持、増進を図るため、保健・栄養・運動に関する情報を得る機会としてセミナーを開催した。

受託先：沖縄県後期高齢者医療広域連合

- ・平成 29 年 10 月 17 日 (火) 10:30~15:30

会 場：サザンビーチホテル&リゾート 2F コーラルグランデ

参加者数：46 人

- ・平成 29 年 10 月 25 日 (水) 10:30~15:30

会 場：ホテルゆがふいんおきなわ 2F あけみおの間

参加者数：49 人

d 健康運動指導士派遣事業

地域や団体からの依頼により、運動教室等講師として健康運動指導士の派遣を行った。

- ・平成 29 年 7 月 28 日（金）13：00～17：00  
沖縄県特別支援学校体育研究大会
- ・平成 29 年 10 月 5 日（木）16：00～17：00  
沖縄中部療育医療センター職員対象運動教室

## エ 助成事業

### (ア) 市町村健康づくり運動実践活動助成

市町村が実施している健康づくり事業を支援するため、市町村を対象に助成応募者を募り、事業費の 10 分の 7（限度額 30 万円）の助成を行った。平成 29 年度は宜野湾市ほか 7 市町村であった。

	市町村名	助成対象事業	開催日	事業内容
1	宜野湾市	宜野湾市 はごろも ウォーキング	H29. 11. 19	「美らがんじゅう体操」の普及とウォーキング大会をタイアップしたイベントを、働き盛り世代が参加しやすい時間帯に開催 参加者数/180 人 会場/宜野湾市海浜公園周辺
2	うるま市	平成 29 年度 健康うるま 21 推進事業	H29. 4～ H30. 3. 31	市民の健康意識の向上を図り、健康を増進するために標語の公募や健康づくり推進大会を開催した。 推進大会では標語の発表やダンスの催しや健康ブースの設置などが行われた。 参加者数/2064 人 会場/うるま市健康福祉センターうるみん
3	東村	東村健康な 身体づくり プロジェクト	H29. 9～ H30. 3	野菜の必要性やおいしい食べ方などを普及する為の「ベジ食べる教室」の開催と、適正飲酒のプロモーションを行った。 参加者数/326 人 会場/東村保健福祉センター
4	与那原町	よなばる てくてく ウォーク 2018	H30. 2. 4	町民の体力づくり、スポーツ意識の高揚を図り、健康で明るいまちづくりを目指すことを目的に、ウォーキング大会を開催。 参加者数/392 人 会場/与那古浜公園発着・与那原町内
5	北中城村	BMI 25 ～ポスティング で健康づく りのメタボ集 団～	H29. 10～ H30. 3	BMI 値 25 以上の村民を募り、ポスティングを通して報酬を得ながら毎月体重測定を行った。 参加者数/15 人
6	伊是名村	伊是名村 健康フェア	H29. 11. 11	全村民を対象に福祉行政の制度の周知、健康活動の推進を行い、健康について自覚するきっかけの場とすることを目的とし、食育事業及び運動実践の事業を行った。 内容は健康昼食販売、パネル展示、健康体操やマッサージ体験、講演など 参加者数/約 766 人 会場/伊是名村産業支援センター
7	国頭村	国頭村 運動啓発推進 プロジェクト	H29. 9. 20 ～ H30. 2. 28	退職後の元気な方や、普段運動の時間が取れない方を対象に年間を通して運動教室を開催した。 参加者数/50 人 会場/国頭総合体育館
8	沖縄市	沖縄市健康 ウォーキング 大会	H30. 1. 13	「歩く楽しさを知る」ことに重点を置き、市民一人一人が健康への意識をもつきっかけづくりを目指しウォーキング大会を開催した。 参加者数/502 人 会場/東南植物楽園

(イ) 健康づくり運動実践活動団体助成

広く県民の健康づくりに寄与するため、地域で健康づくり実践活動を継続している団体に対し、事業経費の助成（限度額 40 万円）を行った。

平成 29 年度は、沖縄県歯科衛生士会ほか 4 団体であった。

	団体名	助成対象事業名	開催日	事業内容
1	沖縄県 歯科衛生士会	第 24 回 「歯りきり元気 いい歯の日」	H29. 11. 5	「いい歯」の日(11月8日)にちなんで歯周病 予防や口腔ケア等の正しい知識の普及啓発と してイベントを開催した。 参加者数/439 人 会場/サンエー西原シティ
2	日本健康 運動指導士会 沖縄県支部	第 10 回 うまंचゅ 健康フェスタ	H29. 12. 3	県民体操「沖縄 Let's プチ体操」を普及し、県 民に健康づくりを啓蒙していくことを目的に イベントを開催。 参加者数/1257 人 会場/北谷ニライセンター
3	沖縄県栄養士会	県民の健康増進 のための食生活 充実に向けた 啓発	H29. 9～ H30. 3	県民の健康意識を高め、身近にある食材を利用 し、個人にあった食事の内容が支援できるパン フレットを作成した。
4	津波古区	津波古区 ヘルスアップ キャンペーン	H29. 8. 1～ H30. 3. 20	区民の健康意識を高めることを目的に、ウォー キングなどの運動キャンペーンを実施した。 参加者数/61 人 会場/中城村歴史の道ほか
5	つきしろ自治会	つきしろ 健康むら	H29. 8. 1～ H30. 2. 28	区民の健康意識を高めることを目的に、体重記 録や健康教室の実施を行った。 参加者数/19 人 会場/つきしろ公民館

(2) 臓器移植普及推進事業

〈腎臓移植の状況〉

沖縄県における慢性透析患者は毎年増加し、平成 28 年末時点では約 4,600 人、特に糖尿病による透析患者数は増加の一途をたどっており、平成 29 年 12 月末には 209 人が（公社）日本臓器移植ネットワークに献腎移植希望登録を行っている。

平成 9 年に臓器の移植に関する法律が施行されてから、平成 22 年 7 月 17 日に臓器移植改正法が施行されるまでの約 13 年間で、脳死下臓器提供件数は全国で 86 例であった。しかし臓器移植改正法の施行後は急増し、平成 26 年 50 例、平成 27 年 58 例、平成 28 年 64 例、法律が施行されてから 20 年が経過した平成 29 年は 76 例と過去最も多い脳死下臓器提供数であった。沖縄県においても平成 26 年に県内初の脳死下臓器提供が沖縄県立中部病院で実施され、平成 29 年までに県内で延べ 3 例の脳死下臓器提供が実施されている。

ア 臓器移植コーディネーター受託事業

臓器移植連絡調整者設置事業を沖縄県から受託し、平成 29 年度より臓器移植コーディネーターを 2 人配置し、移植に関わる医療機関の医師及び院内コーディネーターとの情報交換や移植医療の普及啓発の強化を図った。

(ア) 臓器提供者（ドナー）発生時の対応（あっせん業務）

平成 29 年度の本県におけるドナー情報数は 15 件であった。そのうち、2 人の方（ドナー）が心臓停止後または脳死下で腎臓を提供され、県内で 3 人の患者（レシピエント）へ腎臓移植が行われた。



数字：件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
情報数	4	1	2	0	1	2	1	2	1	0	1	0	15
移植数	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3

(イ) 臓器移植推進委員会の開催

臓器移植医療の専門的立場からの指導助言を受け、臓器の移植医療に対応できる組織体制を構築する必要があることから、専門医による推進委員会を開催した。

○第1回

開催日時：平成29年6月20日（火）19:30～21:00

開催場所：沖縄県保健医療福祉事業団 5階会議室

○第2回

開催日時：平成29年11月22日（水）19:30～21:00

開催場所：沖縄県保健医療福祉事業団 5階会議室

○第3回

開催日時：平成30年3月27日（火）19:30～21:00

開催場所：沖縄県保健医療福祉事業団 5階会議室

イ 医療機関の移植医療体制整備事業

(ア) 病院啓発

県内医療機関を延べ150回巡回し、勉強会や移植関連情報の提供を行い院内体制の充実に努めた。また、行政や警察などの関係機関を延べ10回訪問し連携強化を図った。

(イ) 臓器提供に関する調査の実施

中頭病院（平成30年3月19日～3月30日）

(ウ) 沖縄 TPM モデル臓器提供ワークショップセミナーの開催

臓器提供の意義を理解しチームとして臓器提供に関わるための基礎的な流れや知識を習得する。本セミナーはスペインで開催されている移植医療セミナー（TPM）を参考に開催し、移植医療のスキルアップを図る。また、病院での活動がスムーズに行えるよう、ドナー候補者の評価やドナー家族へのアプローチの方法などロールプレイを通して臓器提供の実際や医療倫理などを学び、意思確認の件数や臓器提供の増加につなげる。

開催日時：平成30年3月10日（土）9:00～17:00

開催場所：沖縄県看護協会 第3研修室

参加者：23人

(エ) 移植医療セミナー（TPM）への派遣

移植医療推進のため、臓器提供者（ドナー）の発見、脳死診断、ドナー家族へのアプローチ法等を学習するセミナーへ救急医等の専門家を派遣した。

派遣先：スペイン バルセロナ

派遣者：孫 宰賢（豊見城中央病院 脳神経外科部長）

研修期間：平成29年11月13日（月）～17日（金）

ウ 県民への普及啓発事業

(ア) 臓器提供意思表示カードの配布及び所持・意思表示欄への記載を推進するため、県、市町村及び関係機関の協力を得てカードの設置や健康保険証・自動車免許証等への記載推進について普及啓発を行った。

- ・市町村、関係機関等へ意思表示カードの補充を行った。
- ・臓器提供の意思表示を呼びける県内版リーフレットをリニューアルした。
- ・意思表示関連ブックカバーを1万枚作成し、ジュンク堂、戸田書店、球陽堂書店、未来屋書店、沖縄教販の県内の書店5社10店舗へ配布した。
- ・臓器提供意思表示の普及推進の為、新聞紙面の一面やテレビ面へ広告掲載した。

○琉球新報・・・176回 ○沖縄タイムス・・・112回

(イ) 臓器移植普及推進月間(10月)行事

毎年10月に実施している「臓器移植普及推進月間行事」を沖縄県、(公財)沖縄県アイバンク協会、(一社)沖縄県医師会、(一社)沖縄県腎臓病協議会、沖縄県臓器移植推進協議会、(公社)日本臓器移植ネットワークなどとの共催により次のとおり実施した。

a 街頭キャンペーン

開催日時：平成29年10月1日(日)16:00～17:00

開催場所：那覇市パレットくもじ前広場

内 容：関係団体等が一同に会しセレモニーを行った後、道行く県民へリーフレット及びシンポジウム案内チラシの配布を行った。

b 観覧車グリーンライトアップ

開催日時：平成29年10月1日(日)18:00～22:00

平成29年10月16日(月)18:00～22:00

開催場所：北谷町美浜カーニバルパーク観覧車

内 容：移植医療のシンボルマークであるグリーンリボンにちなみ、観覧車をグリーン一色にライトアップした。ライトアップは観覧車を管理運営するシュアラスターホールディングス(株)の無償協力で行った。

C 臓器移植を知るシンポジウム2017 ※台風22号接近の影響により中止

テーマ：「意思表示 つぎにつながる 第一歩」

開催日時：平成29年10月29日(日)14:00～16:00

開催場所：沖縄県立博物館・美術館 講堂

内 容：

【表彰式】

公募によって選ばれたシンポジウムキャッチフレーズ作品及び沖縄グリーンリボンアート展で選出された優秀作品への授賞式

(キャッチフレーズ最優秀賞) 受賞作品「意思表示つぎにつながる第一歩」

(沖縄グリーンリボンアート展 沖縄御万人賞)

(沖縄グリーンリボンアート展 審査員賞)

【シンポジウム】

「沖縄県における移植の歴史を振り返って」

～移植医療の未来をともに考えよう～

【献腎移植体験者発表・心臓移植体験者発表】

【質疑応答】

(ウ) 沖縄グリーンリボンアート展 2017 の開催

シンポジウム会場や県庁、県立図書館、県立病院において、作品展を開催し移植医療について県民の関心を高めることを目的に行った。

- 県立南部医療センター：平成 29 年 6 月 26 日（月）～8 月 18 日（金）
- 県庁県民ホール：平成 29 年 8 月 28 日（月）～9 月 1 日（金）
- 県立図書館：平成 29 年 9 月 13 日（水）～9 月 18 日（月）
- 県立中部病院：平成 29 年 11 月 17 日（金）～平成 29 年 12 月 8 日（金）

(エ) イベントの活用

臓器提供意思表示カード及びパンフレットの配布を下記のとおり行った。

- 琉球ゴールデンキングス主催試合  
開催日時：平成 29 年 10 月 15 日（日）  
開催場所：沖縄市民体育館
- 第 24 回糸満市健康福祉まつり  
開催日時：平成 29 年 11 月 12 日（日）  
開催場所：糸満市西崎総合運動公園
- 第 19 回いとまんピースフルイルミネーション  
開催日時：平成 29 年 12 月 16 日（土）・17 日（日）  
開催場所：うちなーファーム
- 第 30 回なんぶトリムマラソン  
開催日時：平成 30 年 3 月 17 日（土）  
開催場所：糸満市西崎総合体育館

(オ) 移植医療情報の提供

平成 27 年度に制作・放送した CM を、引き続き本数を増やして放送を行った。

- 臓器提供意思表示啓発ラジオ CM  
テーマ：「聞いてみよう、家族のキモチ。」娘篇、母親篇、父親篇各 20 秒  
放送期間：平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月  
放送局：FM 沖縄（225 本）、ラジオ沖縄（115 本）、RBCi ラジオ（115 本）  
放送本数：計 455 本

※「聞いてみよう、家族のキモチ。」シリーズ

第 34 回 沖縄広告賞 ラジオ広告 ラジオシリーズ CM 部門 金賞受賞

※「聞いてみよう、家族のキモチ。」母親篇

第 34 回 沖縄広告賞 ラジオ広告 20 秒以内 CM 部門 金賞受賞

- 臓器提供意志表示啓発動画の制作

既に制作された評価の高いラジオ CM 素材を活かした動画を制作した。  
現在、制作した動画は事業団 HP や沖縄県臓器移植推進協議会広報委員会の Facebook で公開している。

- 献腎移植希望登録者への説明冊子の改訂

日本臓器移植ネットワークによる献腎移植希望登録方法の変更に伴い、これまで移植実施施設や透析施設で配布していた説明冊子の改訂が必要となり内容をリニューアルした。

エ 日本臓器移植ネットワーク都道府県支援助成事業

(ア) ○平成 29 年度第 1 回沖縄県移植情報担当者会議

開催日時：平成 29 年 6 月 30 日（金）

開催場所：沖縄県庁 4 階会議室

参加者：35 人（13 施設）

内 容：

開会のあいさつ

沖縄県保健医療部 地域保健課 課長 山川 宗貞

講演「移植医療の現状」

塚本 美保（日本臓器移植ネットワークコーディネーター）

講演「アイバンク活動報告」

西 昌子（沖縄県アイバンク協会 コーディネーター）

講演「沖縄県の臓器提供の現状」

平川 達二（沖縄県臓器移植コーディネーター）

症例報告 ～平成 28 年の臓器提供 3 症例～

金城 紀代彦（沖縄協同病院 内科部長）

玉城 正弘（豊見城中央病院 ICU 部長）

○平成 29 年度第 2 回沖縄県移植情報担当者会議

開催日時：平成 29 年 12 月 13 日（水）

開催場所：沖縄県庁 4 階会議室

参加者：28 人（14 施設）

内 容：

開会のあいさつ

沖縄県保健医療部 地域保健課 課長 山川 宗貞

講演「アイバンク活動報告」

西 昌子（沖縄県アイバンク協会 コーディネーター）

講演「コーディネーター活動報告」

仲間 貴享（沖縄県臓器移植コーディネーター）

講演「TPM 研修会参加報告」

岩永 航（浦添総合病院 救急集中治療部医師）

基調講演 「脳神経外科医師の立場からみた日本の臓器提供事情の問題点」

吉開 俊一（北九州湯川病院 脳神経外科医師）

(イ) 市民公開講座開催「臓器移植って何？～みんなで考える命～」

開催日時：平成 29 年 8 月 26 日（日）10:00～12:00

開催場所：名護市中央民会館

参加者：25 人

内 容：

講演「臓器提供と意思表示」

福井 英人（浦添総合病院 救急集中治療部 医長）

講演「沖縄県の献腎移植の現状」

和氣 享（県立南部医療センター 腎・リウマチ科部長）

オ 助成事業

(ア) 組織適合性検査の助成

献腎移植登録可能施設（沖縄県立中部病院・豊見城中央病院）で、組織適合性検査を受けた臓器移植希望者 21 人に対して、一人 2 万円の助成を行った。

(イ) 沖縄県腎臓病協議会への助成

沖縄県腎臓病協議会が実施する QOL 向上を目指した学習会や講演会等費用の一部を助成した。

カ 賛助会員の募集

賛助会員（1 口：3 万円）加入の協力を、医療機関及び企業団体等に呼びかけたところ、14 団体から 14 口、42 万円の会費収入があった。

(3) ファミリーハウス事業

離島など遠隔地から「南部医療センター・子ども医療センター」等に入院又は受診する難病等の子どもや付添い家族のための滞在施設として、ファミリーハウス「がじゅまるの家」の運営を NPO 法人「こども医療支援わらびの会」に委託して行い、病児及び家族の経済的負担や精神的不安の解消に努めた。平成 29 年度の稼働率や利用者数等は次のとおりである。

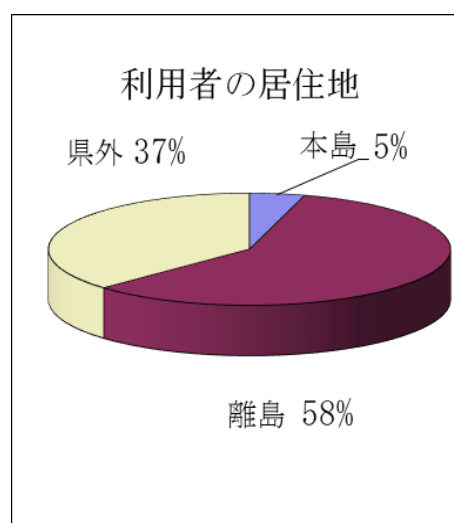
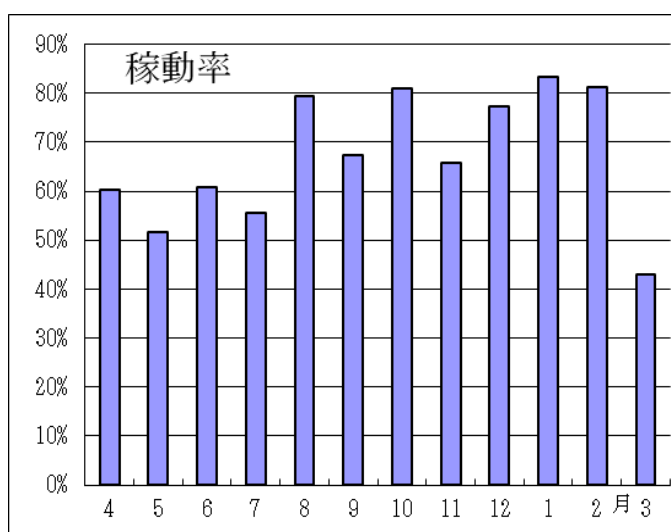
＜ファミリーハウス「がじゅまるの家」利用状況＞

月	営業 日数	利用室数	稼働率	利 用 者 数 ( 人 )				
				沖 縄 県			県外	合計
				本島	離島	計		
4	30	181	60.3%	4	160	164	155	319
5	31	160	51.6%	7	131	138	81	219
6	30	182	60.7%	22	139	161	94	255
7	31	183	55.5%	41	155	196	94	290
8	31	246	79.4%	19	318	337	113	450
9	30	202	67.3%	10	173	183	97	280
10	31	251	81.0%	24	251	275	132	407
11	30	197	65.7%	16	150	166	138	304
12	31	240	77.4%	6	193	199	210	409
1	31	258	83.2%	4	272	276	116	392
2	28	210	81.1%	7	185	192	81	273
3	31	133	42.9%	8	88	96	97	193
計	365	2,443	66.9%	168	2,215	2,383	1,408	3,791

※年度別稼働率 H20:56.7%、H21:57.0%、H22:77.7%、H23:70.1%、H24:71.9%、H25:71.6%、H26:58.5%  
H27:64.6%、H28:67.6%、H29:66.9%

住居地別利用者数(人)

沖縄県	2,383	鹿児島県	839	京都府	31	大阪府	141
山梨県	4	熊本県	6	三重県	3	愛媛県	9
神奈川	52	愛知県	41	東京都	8	岐阜県	3
台湾	129	岡山県	61	長崎県	3	高知県	8
韓国	4	岩手県	59	外 8 県	7	計	3,791



(4) 勤労者福祉事業（就労支援事業）

勤労者の福祉の向上等に取り組む団体が行う事業で、地域において勤労意欲のある者に対する就労の支援に対し、その必要経費の一部を助成した。

1 助成団体：（公財）沖縄県労働者福祉基金協会（以下「労福協」という。）

2 労福協への助成事業

(ア) 就労困難者に対する雇用に関する相談及び指導

a ワンデイセミナー（就職力アップ）

・掃除セミナー・ビジネスマナー、奨学金に関する相談等

実施回数：40回

受講者：180人

b 自己学習の場の提供・サポート

・セミナーの予習、復習や履歴書作成等に個別対応

実施回数：随時2～3時間程度

受講者：314人

c 中間的就労

・農作業や軽作業・接客販売業、ボランティア体験

実施回数：57回

参加者数：146人

(イ) 就労困難者に対する雇用に関する情報収集及び提供

a 無料職業紹介事業

・「就労困難者」にマッチングした求人開拓

実施回数：随時

利用者数：48人

b 調査研究

・働く人のためのガイドブック作成及び配布

実施回数：随時

配布先：165ヶ所、配布数：4,303部

c ゆんたく会等居場所づくり支援

実施回数：2回

利用者数：9人

(ウ) 資格取得、技術または技能の習得等職業能力を高める事業

a 調理師資格取得試験準備講習会

実施回数：6日×3会場

場所：那覇、北部、中部にて集中講座

参加者数：86人

b 原付免許取得直前講習

実施回数：2回

参加者数：5人

c パソコン検定取得直前講習

実施回数：10日間×4回

参加者：34人

d パソコン初歩セミナー

実施回数：連続セミナー年5回（通算25日間）

1Dayセミナー年47回

受講者：336人

(エ) その他就労支援のために必要な事業

a 相談員スキルアップセミナー（人材育成）

実施回数：4回

場所：グッジョブセンターおきなわ3階（那覇市）

参加者数：146人

b 子ども・若者支援員養成講座（子どもの貧困問題対策）

実施回数：1回

場所：自治会館

参加者数：316人

事業の延べ参加者数：1,534人

※ 労福協 就労サポートセンター事業の実施状況

セミナー・研修名		4月～3月		就職率 (進路決定者を含む)
		実人数	合格率	
(ア)	ワンデイセミナー（就労支援）	63		33.3%
	自己学習の場の提供	23		30.4%
	中間的就労	5		16.7%
(イ)	無料職業紹介事業	24		84.1%
	ゆんたく会等居場所づくり支援	9		
	調査事業		配布先 165ヶ所 配布数 4,303部	
(ウ)	調理師資格取得試験準備講習会	17	58.8%	
	原付免許所得直前講習	5	20.0%	
	パソコン検定取得直前講習	13		46.2%
	パソコン初歩セミナー	110		62.7%
(エ)	相談員スキルアップセミナー	146		
	子ども・若者支援員養成講座	316		
			平均値	51.4%



(5) 現有資産の活用

ア 事業団が所有する施設（旧健康増進センター）を民間フィットネス事業者（株式会社フィットネスプロモーション）へ定期賃貸借契約（平成17年から15年間）により賃貸した。また、敷地内から湧出する温泉は動力装置により汲み上げ、温泉施設へ安定供給を行った。

同事業者が運営するジスタス浦添の平成29年度施設利用者の延べ人数は約510,800人となっており、県民の健康増進に活用された。

(6) 現有資産有効活用方策による調査

当事業団施設及び温泉について、現在のフィットネス事業者との定期建物賃貸借契約が平成32年8月31日をもって期間満了になることから、今後の施設有効活用に関するニーズ等を把握するため、コンサルタント会社（株式会社国建）へ調査を依頼した。52事業者を対象にアンケート調査を実施した結果、8事業者が関心を示していたので、事業者に対して直接ヒヤリングを行った。

(7) 資金運用

事業団資産運用基準(平成14年3月28日制定)に基づき、リスク軽減措置を講じたうえで、資金の安全かつ効率的な運用に努め、平成29年度は当初予算を4%上回る収入を確保することができた。為替に連動する債券は、年度途中までは円安傾向が続き予算を上回る運用益があったが、日経平均株価に連動する債券については、昨年の日経平均株価の高騰により多くの債券が早期償還され、リスク管理の面から同様な債券を購入することが難しくなり後継債券の利率が低下し、全体の実績では、前年度の利回りより0.18%低下した。

ア 損益ベース(正味財産増減計算書から)

運用の種類	平成29年度				平成28年度				対前年度増△減	
	運用額 (千円)	構成 比	運用益 (千円)	利回 り	運用額 (千円)	構成 比	運用益 (千円)	利回 り	運用 額 (千 円)	運用益 (千円)
銀行 預金	1,720,000	22.4%	3,166	0.18%	1,720,000	22.4%	4,204	0.24%	0	△ 1,038
有価 証券	5,960,000	77.6%	163,503	2.74%	5,960,000	77.6%	176,488	2.96%	0	△ 12,985
計	7,680,000	100%	166,669	2.17%	7,680,000	100%	180,692	2.35%	0	△ 14,023